

CBCCT を用いた target motion, margin に関する研究

1. 研究の対象

2007 年 1 月以降に当院で放射線治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

放射線治療の高精度化に伴い、周囲の正常組織を守りながら target（腫瘍）へ高線量を投与することが可能になりつつあります。しかし、肺や肝臓などの呼吸性移動、消化管・膀胱・子宮などの生理的移動が存在するために、target に対して線量を確実に投与するためには一定の margin を設ける必要があります。また、今までは照射時に実際に target が設定の margin 内に収まっていることを確認する方法がなかったため、広めの margin を設定する必要がありました。近年、治療時にコーンビーム CT を撮像し、実際に target が照射範囲に入っているかを放射線治療施行時に確認できる技術が進歩してきました。これにより今までの margin が広すぎる、ないし狭すぎるなどの評価を行えるようになってきました。Margin を最適化することは腫瘍への的確な放射線投与による治療成績向上、不要に放射線を投与される正常組織の体積を減らすことで有害事象の低減へとつながります。本研究では実際の治療時に撮像する CBCCT を用いて、target の動きを解析し、各領域での最適な margin を特定することを目的とします。

放射線治療時に位置合わせのために撮像する CBCCT を使用し、その CBCCT を治療計画 CT 上に合わせこみます。その画像を用いて target に十分な放射線を投与できる、最小の margin を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、放射線治療計画、治療時 CBCCT 画像情報等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 和田 健太郎 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181